

犬や猫の命を大切に

福井 園児の絵などで啓発



引き取り手のいない犬や猫の殺処分が後を絶たない中、命の大切さを呼び掛ける催しが十日、JR福井駅西口の屋根付き広場ハビテラスであった。

福井イーストライオンズクラブが社会福祉活動の一環で企画し、NPO法人「福井犬・猫を救う会」と福井市が協力した。

保護された犬や猫の譲渡会に集まる来場者ら。福井市のハビテラスで

市内二十の幼稚園、保育園から募集した犬や猫の絵画三百二十九点を展示。保護された犬猫の譲渡会や、主に野良猫の増加を防ぐための去勢手術費を賄う募金活動もあった。紙芝居の活動に長年取り組む津田節江さん(左)と、同市宝永二丁目Ⅱが、ハビテラスの大型ビジョンで犬猫の作品を披露する企画もあった。

救う会の藤永隆一代表

(左)は「特に猫は家の中で飼う、去勢手術を徹底する、最期まで面倒を見るという飼い主のモラルが大事」と話した。

(平野誠也)